

高度職業訓練修了者のキャリア形成に関する研究

— 専門課程修了者を対象に —

雇用・能力開発機構

職業能力開発総合大学校能力開発研究センター

はじめに

I T等の技術革新による社会構造の変化、厳しい経済情勢による失業率の増大、若年者の就業意識の低下などによるフリーターの増加がみられ、職業生活の中で労働移動や職務の転換を念頭に置いた職業生活設計やそれに即したキャリア形成を行うことが労働者個人に求められている。

高度な専門知識、技能、技術を有する人材が望まれる中、昭和50年、東京職業訓練短期大学校が開校され、それ以降、平成13年度までに雇用・能力開発機構立26校（現職業能力開発大学校及び附属短期大学校を含む）、県立7校、民間企業立25校が設立され、実践技術者（テクニシャン・エンジニア）を育成し、社会に送り出している。

本研究では、今後の職業能力開発大学校及び短期大学校における能力開発に関する資料とするため、平成13年度から「高度職業訓練修了者のキャリア形成に関する研究」を行ってきた。

先行研究としては、「職業能力開発短期大学校卒業生面接調査記録」（調査研究資料No.95）、「職業能力開発短期大学校教育と卒業生のキャリア形成に関する研究」（調査研究資料No.98）があるが、これらは調査から8年を経過している。

本報告書は、職業能力開発短期大学校修了者の就業実態、職務変化、転職実態、能力開発、職業能力開発短期大学校の評価と教育のあり方などについて取りまとめたものである。

本研究を2ケ年にわたりご参加いただいた委員方々には貴重なご意見をいただき、深く謝意を表す次第である。

職業能力開発総合大学校

能力開発研究センター

所 長 池 本 喬 三

研究プロジェクトメンバー（敬称略・順不同）

杉山 助一	社団法人工学院大学校友会
梅田 泰	株式会社野毛電気工業
武田 利行	山形県立山形職業能力開発専門校
中嶋 俊一	関東職業能力開発大学校
福元 基	九州職業能力開発大学校
横山 正則	関東職業能力開発促進センター
宮澤 昊一	職業能力開発総合大学校東京校
大野 守	職業能力開発総合大学校東京校
秋山 恒夫	職業能力開発総合大学校
辻 栄一	茨城職業能力開発短期大学校（平成 13 年度）
事務局	
井本 栄一	雇用・能力開発機構 職業能力開発指導部
稲垣 宗昭	職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター
山見 豊	職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター
松崎 学	職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター
菊池 真	職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター
紀 高志	雇用・能力開発機構 職業能力開発指導部（平成 13 年度）
平山 正己	職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター（平成 13 年度）

目 次

第1章 研究の目的と結果の概要	3
第1節 研究の目的	3
第2節 調査の実施方法	3
第3節 調査結果の概要	5
第2章 アンケート調査の結果	9
第1節 就業の実態	9
第2節 職務変化と転職の実態	25
第3節 職業キャリアの形成	42
第4節 短大教育に対する評価、意見	45
第5節 自由記述のまとめ	50
第3章 ヒアリング調査の結果	53
第1節 ヒアリング調査の概要	53
第4章 母校と修了生の関係	57
第1節 フォーロアップ教育訓練の考察	57
第2節 同窓会の現状と活用	58
第5章 まとめ	63
第1節 高度職業訓練修了者のキャリア形成	63
第2節 おわりに	68
資料集	
1. アンケート自由記述	75
2. ヒアリング調査（修了生の活躍事例）	117
3. 卒業生へのアフターケア	183
4. 予備調査表	191
5. アンケート調査票	197
6. ヒアリング調査票	207